

平成 30 年度 第 3 回竹島問題を考える講座

演 題 「竹島問題の理解のために — 竹島問題と韓国の歴史認識問題 —

1952 年 1 月 18 日、韓国の李承晩大統領（当時）が公海上に一方的に引いた「李承晩ライン」を宣言して以来、「竹島」は日韓の係争の地となった。それから半世紀以上が過ぎた今日、解決のめどは立っていない。

歴史的に韓国領でなかった竹島が「民族の自尊心」や「独立の象徴」となるのはなぜだろう。そこには、日本とは違う韓国社会がある。慰安婦問題や徴用工問題、日本海呼称問題も同じ現象である。この韓国に対して、日本はどのように対処したらよいのだろうか。

今回の「竹島問題を考える講座」では、竹島問題をめぐる経緯を皆さんと一緒に振り返り、北方領土や尖閣諸島などとの関連にも触れながら、課題について理解を深めていきたいと思ひます。

講師 しも じょう まさ お
下 條 正 男 氏

拓殖大学国際学部国際学科教授・竹島問題研究会座長

日時 平成 30 年 7 月 28 日 [土] 午前 10 時～午前 11 時 30 分
場所 浜田ワシントンホテルプラザ 2F らんの間（浜田市黒川町 4177）
主催 島根県
定員 100 名（受講料無料）

【講師紹介】

1950 年長野県生まれ。國學院大學大学院博士課程修了。1983 年韓国三星綜合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て、98 年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、2000 年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授に就任、現在に至る。

専攻は日本史。第 1～第 4 期島根県竹島問題研究会座長。

著書に『日韓・歴史克服への道』（展転社）、『竹島は日韓どちらのものか』（文春新書）他



【お申し込み方法】 ※申込期限 7 月 27 日（金）

下記申込書を「竹島資料室」宛に、郵送または FAX でお送りください。

電子メールの場合は「第 3 回竹島問題を考える講座申し込み」と明記の上、名前と電話番号を送信ください。

【申し込み先・問い合わせ先】

島根県総務部総務課 竹島資料室 〒690-8501 松江市殿町 1 番地 県庁舎第 3 分庁舎

[TEL] 0852-22-5669 [FAX] 0852-22-6239 [E-mail] takeshima-shiry@pref.shimane.lg.jp

[Web 竹島問題研究所 HP] <http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/takeshima/web-takeshima/>

キトリ

平成 30 年度 第 3 回「竹島問題を考える講座」申込書

(ふりがな) 名 前		
電話番号		
次回講座案内 (どちらかに○)	不要・要	<送付先> 〒

※提供していただいた個人情報につきましては、考える講座開催のみに利用します。